

ここでみつけた! 弘前の中のフランス

フランスと関わりのある人たちを紹介していきます。

皆さんが見つけた、弘前にあるフランスに関わりあるものや人を教えてください。
メールアドレス: french@cc.hirosaki-u.ac.jp

弘前の風土で生きる洋菓子

スキップ ハート SKIP HEART

弘前市土手町にあるカフェ SKIP HEARTのオーナー・パティシエで、フランス語圏のベルギーで研修した経験もある関 浩司さんにお話を伺いました。SKIP HEARTは弘前市にある、ボンジュールという洋菓子店のカフェ部門。

実際フランスに行った際に感じたことを尋ねると、あちらの人々は自国や自分の住む地域に対する自信やプライドが非常に強く、**自分たちの作る物に対してもかなりの自信を持っているようだった**と語ってくださいました。また、古くからの文化が強く根付いており、日本よりもしっかりと各地の郷土料理や昔ながらのレンガ造りの建物が守られているように思えたとも。

関さんが弘前に出店した理由は、元々生まれた土地に戻ってきたのが一番だったのですが、実際にお店を出してから**弘前付近の気候や風土が南ヨーロッパ(フランスやイタリア)に近い**ためか、ブルーベリーやラズベリーなどのベリー系や洋梨などの果物がよく採れ、この辺りが洋菓子作りに適した土地であると気づいたそうです。

最後に関さんは、弘前にフランス料理や洋菓子のお店が多いのは、明治時代から弘前に宣教師や外国人教師が多く滞在していたことで、ほかの地域よりも海外からの影響を早い時期から受け、俗に言うハイカラな人が多かったからではないかとも話していました。また、弘前は物価が安くそれぞれのお店にファンが付きやすいという要素があるためか、個人経営で小さいけれども独自の色を持ったお店が沢山あるのだそうです。

こうした風土や都市としての雰囲気、フランス料理のお店を増やしている要因の一つなのかもしれません。



(Mario 佐々木) 地元のりんごで作ったアップルパイ



店内にはワインがずらり

ワインへの愛が あふれるお店

やなぎ だ 酒の柳田

フランスとはどんな国かという問いに、ワインの本場と答える方も多いのではないのでしょうか。酒屋さん「酒の柳田」には、世界中から仕入れた多種多様なワインが店内中にありました。なんと300~400種類ものワインを在庫しているようです。現在のオーナー・柳田 正一さんがワインを店で扱おうと決めたのは、30年くらい前にお店でなにか新しいお酒を置きたいと思ったことがきっかけ。フランスに対してのイメージを聞けば、ワインの本場という印象のために憧れの気持ちが大きかったのだとか。実際に行って、「パリはフランスではない」という言葉があるように、フランスの田舎の風景の美しさに感動したそうです。中でも360度一面に広がるブドウ畑は、一日中いても飽きないとのこと。

フランスにおいて、地方は都市にも負けない力と魅力があるのでしょうね!

美味しいワインに出会うために、柳田さんは自らフランスのブルゴーニュやボルドーなどのブドウ畑に出向き、見て、味わって、良いと思ったものだけを仕入れます。現在もフランスの一部のワイナリーと提携を結び、産地から遠く離れた日本へそのままの味を届けられるように、品質管理を徹底的に行っているそうです。徹底ぶりは相当なもので、ワインを店内に置くと決めたときからワインセラーを完備し、輸入する過程にも気をつけて、リーファコンテナという冷蔵コンテナを使い高品質を保つようにしているほど。

オーナーのワインに対する愛情が、ひしひしと伝わってきます。店内のワインをみてると、おもわずヨーロッパを観光している気分になりました。

(Paul 細川)



Sophieが見つけた弘前

弘前大学の姉妹校・ボルドー第3大学からの留学生(2012年10月~2013年9月)・ソフィーさんがみつけた「弘前」を紹介。

